



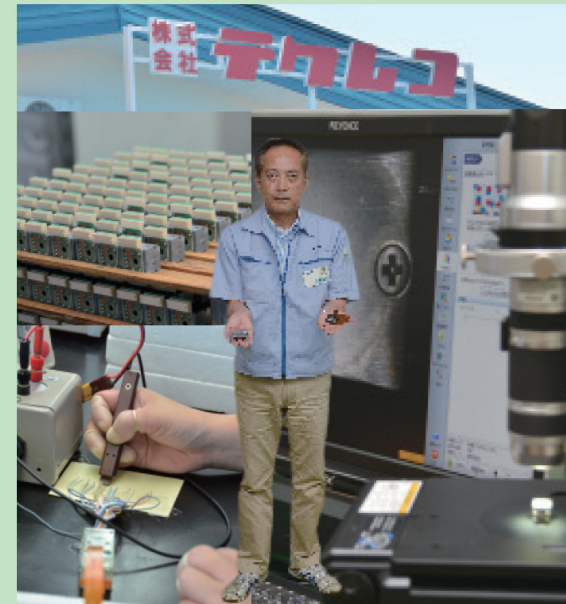
市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.38

大曲地域の角間川地区で主に産業用磁気ヘッドや磁気カードリーダーの開発・製造を行っているのが、株式会社テクレコ秋田工場（本社・神奈川県）です。

同社は、1960（昭和35）年に創業し、1973（昭和48）年に旧大曲市に秋田工場を設立。その後、1988（昭和63）年には海外営業拠点として香港テクレコを設立し、中国北京やフィリピンの工場に量産工程を移管することや秋田工場からの技術指導を進めるなどして、事業を拡大してきました。

工場設立当時は主にカセットテープなどを読み取る音楽用磁気ヘッドの製造を手がけていま



小さな「カタチ」に高い機能

（株）テクレコ秋田工場[大曲]

製造品目／精密電子部品（磁気ヘッドなど）

従業員数／37人

※今回の案内人は

テクレコ秋田工場長の宇佐美敏さん

したが、時代の移り変わりとともに、用途が多様化し、現在では鉄道会社の自動券売機や、銀行ATMなどの産業用磁気ヘッド部品の製造を行っています。磁気ヘッド・カードリーダーの製造は国内でも少なく、同社の製品は高いシェアを占めています。

秋田工場では、取引先の要望に応じて、試作品の製造や金型などの製造で使う器具の作成も行っています。小型・軽量化の部品や防犯機能を高めた部品など量産化が難しい製品にも取り組みなど、高い技術の製品を世界に発信する同社は、これからもさまざまなニーズに対応するため、工場全体で取り組んでいきます。